

2021年2月5日

報道関係各位

**新型コロナウイルスワクチンの国内供給に向けた
アストラゼネカとの業務委受託契約締結に関するお知らせ**

KMバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：永里敏秋、以下「KMバイオロジクス」）は、アストラゼネカ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：ステファン・ヴォックスストラム、以下「アストラゼネカ」）が日本へ導入する新型コロナウイルスワクチン AZD1222（以下 AZ ワクチン）の国内供給に向け、アストラゼネカと AZ ワクチンの製剤化に関する業務委受託契約を締結しましたのでお知らせします。

本契約の締結に基づき、KMバイオロジクスは、アストラゼネカから供給されるワクチン原液を製剤化（バイアル充填・包装）します。製剤化については、「新型インフルエンザワクチン開発・生産体制整備事業」で整備した合志事業所（熊本県合志市）の設備を活用します。

なお、AZ ワクチンの保管・配送等は、Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下「Meiji Seika ファルマ」）が担当します。

明治ホールディングス傘下のKMバイオロジクスと Meiji Seika ファルマは、国民の皆様にも一刻も早く AZ ワクチンをお届けするため尽力してまいります。

併せて、KMバイオロジクスが現在進めている不活化ワクチン KD-414 の開発も加速し、日本国内における新型コロナウイルス感染症の制御に貢献してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

KMバイオロジクス株式会社

経営企画部 広報課 TEL：096-344-1385